

令和3年度おだわら市民交流センターUMECO実施事業中間報告

令和3年10月14日
第3回会議
資料1-4

※UMECOの基本コンセプト「つながる」に基づく3つの方針

- ・きっかけ：つながりを生み出すきっかけの場（市民活動に興味のなかった方にも地域課題に関心を持ってもらう。身近な社会貢献活動の環境を整備する。）
- ・行動：それぞれの思いがにつながる行動の場（市民活動団体だけでなく、事業者や地域活動団体等の多様な主体の交流を促進し、新たな連携関係を生み出す。）
- ・実現：行動を社会貢献につなげる実現の場（活動をより社会貢献度の高い活動として広げる。資金や人材等をつなぎ、持続可能な事業となるよう支援する。）

※3年度実績値は、特段の記載がない場合は令和3年9月末時点のものです。

①拠点機能

No	区分	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	2年度実績値	3年度目標値	3年度実績値	達成率(%)	課題等
1	実施中	UMECO企画展	きっかけ	市民活動団体が実施している社会貢献活動の内容等を多くの市民に紹介し、団体と市民がにつながるきっかけを作る。	市民活動団体や関係所管部署からの展示企画の要望等を反映した形で、各団体の特徴を生かしながらジャンルごとの展示をする。また、市の行事や季節感のある行事を取り入れ、一般市民が興味を示すような企画展を開催する。常時アンケート調査を実施。展示希望団体の募集をする。	開催回数 参加団体数	25 25	30 30	16 18	53 60	作品の展示希望が多い。今後展示に限らず団体の意志を尊重し内容の拡大をする。
2	実施中	<u>アクティブサロン</u>	きっかけ	活動発表を希望する団体に場の提供をし、活動エリアや交流エリアを使用し活動紹介や制作物の販売等を行う。	活動発表の機会が少ない団体で自分達も何か活動発表をしたいと考えている団体に対し活動発表の場を提供する。気軽な気持ちで参加して頂き又活動資金を得るための活動も支援する。エリアを活用しサロン形式でティーを販売したり制作物の販売をし活動資金の一助とする。活動希望団体の募集をする。	開催回数	0	11	0	0	コロナの影響で7月近代小田原展三茶人展、9月小田原国際交流団体連絡会がキャンセル。今後も更に自由な発想で行うアクティブサロンの趣旨を周知する。パフォーマンス・物販・講演等の広報を充実させる。
3	実施済	団体登録更新	—	登録団体は少なくとも1年に1度は活動実績をベースに次年度の活動計画を立案し登録の更新をする。	UMECOに登録している市民活動団体に、年度更新の通知文を送付する。団体から書類の提出を受けて確認した上で登録団体データベースを更新する。それに併せてホームページの団体内容も更新する。令和2年からはHello!UMECOを作成し関係者と一般市民に配布。 <u>今年度は全登録団体名簿とHello!UMECOの改定版を作成する。</u> <u>更新手続きはできるだけ多くの団体が登録できる様、メール・郵送・FAXも認める。</u> <u>その際地域ネットワーク協力について積極的に働きかける。</u>	年度末の登録団体数	394	410	389	95	高齢化で更新を忘れてしまう団体さんがいる。更新手続きの簡素化も必要か。

②相談・支援機能

No	区分	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	2年度実績値	3年度目標値	3年度実績値	達成率(%)	課題等
4	実施中	相談業務	全て	市民活動・NPO関係・その他一般市民の市民活動に関する相談を受ける。相談内容に応じ、適切な対応をすることにより、相談者の市民活動を活発化させる。	相談業務の充実を図るために、全ての相談をスタッフ全員が受け付け対応できるようにする。通常相談は常時受付、予約相談は月1回第1土曜日に実施する。職員の研修を重ねる。 <u>UMECOだより・つながるの</u> <u>ほかホームページ上にも相談業務窓口のPRを掲載する。</u>	相談件数	66	170	38	22	コロナ禍団体の活動が鈍り相談件数が目標達成せず。今後10月から応援補助金の相談に期待する。
5	実施中	市民活動団体への資金面への支援	行動実現	市民活動団体が行う事業に対し、財政支援を行うことにより、市民活動の活性化を図り、市民の創意を活かした市民主体のまちづくりを進めること。	小田原市市民活動応援補助金の募集等を行うことに加え、市民等からの寄付金を財源とした市民活動団体への支援を行う。UMECO市民活動応援補助金は令和2年は0件であった。令和3年度は1～2団体を目標に応募者を支援する。 <u>交付事業実施時における相談・支援に努める。</u> ※()内の数字はUMECO市民活動応援補助金該当数	応募件数	18 (0)	18 (1)			令和3年度交付スタートアップ 3 ステップアップ 8 各団体活動視察実施。しかしコロナ禍で実施に至らぬ団体がある。今後の活動に期待。

③協働支援機能

No	区分	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	2年度実績値	3年度目標値	3年度実績値	達成率(%)	課題等
6	実施中	企業とのネットワーク	実現	市民活動団体が企業とネットワークを組むことにより、市民活動団体の活動場所や市民活動の意義の周知につなげ、又団体の資質の向上にもつなげる。企業のCSVと活動団体の協働事業を行うことにより更なる市民活動の推進発展を図る。	企業とのネットワークなので、企業と相談の上win winの中で活動する。シティーモールで年3回のフェスティバルを開催する。又指定管理期間の5年の間で新たな企業との協働事業を開拓する。今年度も引き続き、実施可能な事業形態などを検討し施行する。 <u>令和3年度からミナカの金次郎広場で団体の活動発表の場を活用する。</u> <u>7月17日(土)ミナカでのイベント実施(落語及びヨーヨー実演)</u>	開催回数 参加団体数 参加者数	1 8 300	3 24 500	1 2 50	33 8 10	コロナ禍の影響でシティーモールでの第1回目は中止。ミナカフェスティバルは毎月第3土曜日実施予定だが、7月のみ実施できた。会場が外なので雨天中止となる。今後も天気左右される。

No	区分	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	2年度実績値	3年度目標値	3年度実績値	達成率(%)	課題等
7	実施中	地域とのネットワーク	実現	地域活動団体と市民活動団体との連携を通じて地域の活性化や課題解決へと結びつける。 従来のうきうき交流会は一定区域に限らず市内全区域で小田原市社会福祉協議会を中心に活動を行う。 新任自治会長の会合に参加し市民活動について説明する。	今年度も令和2年度に続き地域の課題解決のために、行政や地域のまちづくり委員会との情報交換を行い、中間支援組織として、UMECOの登録団体が地域課題の解決を支援する。 <u>地域活動の関係者と活動団体と共に課題解決に実績のあった事例を発表し双方に気づきや発展に結びつくるための機会を作る。</u> 又従来から実施している地域活動団体等からの依頼に応じ、適した市民活動団体を選定し、紹介する。両者の交流を通してお互いの活動内容を理解し、令和3年には発展的な活動に繋げるために、 <u>市民活動登録団体の名簿と内容を表記し見やすい冊子を団体登録更新事業で作る。名簿の配布先は課題解決をする関わり</u> の強い所を含め配布先を決定する。(例・まちづくり委員会実務担当者・自治会長・民生委員・公民館 学校・市民活動団体・ネットワーク事業 他) 全団体記載のため、各団体へ配布予定。	実施回数 実施団体数	2 1	5 2	7 6	140 300	コロナ禍地域自治会と連携が取れず。夏休み中、株式会社明日葉より学童保育に団体依頼あり。(防災、リサイクル、ヨーヨーなど) 自治会とは更に交流を持ち課題について話し合う。課題提出は自治会との深い繋がりがある地域政策課から提供してもらう。
8	実施中	団体支援	行動	活動団体を広い意味でいろいろな面から活動支援する。	学生支援・ボランティア成長支援・声の万華鏡・協働事業(うきうき交流サロン)その他団体支援に必要と認めた活動支援をする。	学生支援 声の万華鏡	13	15	7 9	106	学生の参加者が少ない。どうしたら会員が増えるか。

④学習・体験機能

No	区分	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	2年度実績値	3年度目標値	3年度実績値	達成率(%)	課題等
9	実施中	市民活動入門講座	きっかけ	超高齢化社会の中、若い人も含めシルバー世代の方も生きがいを持ち、生き活きた社会生活が出来るよう市民活動へのきっかけ作りをする。 出張・出前講座含む 中高大学生に対し、市民活動とは何かを知ってもらうことにより、市民活動を実践するきっかけを作る。	市民活動の基本的な内容や、なぜ市民活動が楽しいのかを知って頂けるような講座を実施。市民活動を知らない方を対象に、市民活動に興味を持ち、活動をはじめてもらえるようなきっかけを作るための講座を開催する。 市内の大学や高校等へ積極的に働きかけ、市民活動について広く周知し啓発するために講座を開催する。 <u>近隣の学校に協力を働きかけ出張講座の数を増やす。</u> <u>5月26日(水)小田原短期大学において出前講座を実施。</u>	開催回数 参加者数	1 20	3 100	1 120	33 120	コロナ禍夏休みボランティア体験学習が実施不可。出前講座も実施できず。

No	区分	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	2年度実績値	3年度目標値	3年度実績値	達成率(%)	課題等
10	実施中	団体向け各種講座	行動	各種団体が活動する中で必要と認められた講座を実施する 市民活動に必要な資金獲得や法人化のための支援、組織強化の支援に関する支援等を行うことで市民活動の発展を図る。	アンケートの結果インターネットを利用した会議や交流事業等を行いやすくするための情報提供やアプリの使い方に関する知識の提供の講座を開催する。 NPOマネジメント講座・ZOOMの使い方・動画の作り方等、時代の流れに合わせた事業の展開をする。	開催回数 参加人数	1 12 (動画作成講座)	4 60	15 10	375 17	社会状況に合わせ必要とされる「ZOOM」のやり方の講習を実施。今後も社会変化の中で臨機応変に企画する
11	中止	夏休みボランティア体験学習	きっかけ	青少年の時期には、学校内外を通じてボランティア活動の場や機会を充実させることが大切である。社会にどのような貢献ができるかという「ボランティア精神の芽生え」のきっかけ作りを行う。	ボランティアの受け入れを登録団体に募集し、受入れ団体と・児童・生徒との橋渡しをする。できるだけ多くの市民活動団体の活動を体験させるために団体の積極的参加を得る。また、学生と関係ある学校側の協力を得るよう働き掛ける。 コロナにより社会状況が変化したので状況により実施する。	参加団体数 参加者数	0 0	30 200	0 0	0 0	コロナ感染拡大の為に中止
12	実施中	男女協働参画の推進	きっかけ	女性の社会的・精神的・経済的な自立を目指し多方面にわたり支援すると同時に市民活動へのきっかけを作る。	社会的状況の中で女性のおかれている立場を理解し柔軟に考え必要と認められた事業を実施する。	開催回数 参加者数	0 0	1 30	0 0	0 0	人権・男女共同参画課との協働事業はUMECO企画展で実施。
13	実施中	インターンシップ受入	きっかけ	若い力を育てるためインターンシップの受入れを行い、多くの登録団体とつながる機会を作る。	インターンシップを希望する学生に対し、充実した体験学習プログラムを企画し要望や希望を受け入れ効果的な実施体験の場を提供する。	参加者数	1	1	0	0	10月より受入予定

⑤交流・コーディネート機能

No	区分	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	2年度実績値	3年度目標値	3年度実績値	達成率(%)	課題等
14	実施中	UMECO祭り	きっかけ	多くの市民にUMECOや市民活動団体を周知し、市民活動参加へのきっかけを作るとともに、参加団体相互の交流を図る。又、市民活動に興味や関心を持った市民がともに市民活動ができるようにする。	登録団体や利用者が一堂に会し、活動発表や作品展示など様々な企画(活動紹介・物品販売・パフォーマンス)を行い、自分たちの活動内容を多くの市民に知らせる。しかしコロナ禍の中では状況により実施方法を工夫しながら交流を図る。	開催回数 参加団体数 動画閲覧数	1 60 2043	1 80			実行委員希望者が少ない。楽しさのある企画を計画し盛り上げる。
15	実施中	団体交流会	行動	登録団体同士の交流会により、他団体の活動内容を知り、新たな発展的な活動の展開が行われ、市民活動の推進を図る。	課題別で団体が集まる市民活動団体間の交流事業。情報交換やワークショップ等を行う。 今後も交流後のフォローを行い充実した交流会にする。また、 <u>地域の課題を意識したテーマを設定し、地域コミュニティ組織からも参加者を募るなど、地域とのつながりを大切にする。</u> 第1回 8月26日(木) テーマ： <u>市民活動団体の資金調達</u> <u>ZOOMにより実施し、3団体からのクラウドファンディング等についての発表の後、質疑応答を行った。</u>	開催回数 参加者数	2 50	3 45	1 28	33 62	コロナ禍対面で出来ずZOOM講座。ZOOMのやり方の工夫を。
16	未実施	新春交流会	行動	市民活動団体が一堂に会し交流を図ることで、市民活動団体同士のつながりを生み出すキッカケをつくる。	1部はできるだけ団体の活動を知っていただけるような内容を企画し、2部は参加者同士のコミュニケーションが図れるよう工夫する。 <u>アンケートの積極的な回収と活用をはかる。アンケート結果を踏まえ改善できるところは改善し市民活動団体の交流を深める。</u> コロナ禍の中での実施は、 <u>昨年実施したようにZOOMで実施する予定。</u>	開催回数 参加団体数 参加者数	1 24 46	1 25 50			1月15日実施予定 準備中
17	未実施	企業・NPO・学校パートナーシップ	きっかけ	多様な主体の出会いときっかけづくりの場を作る。	「企業・NPO・学校のつながりin小田原」の事業は今年度は4回目になる。年々企業と市民活動団体とのつながりが増加し成果が上がってきた。そこで協働した事例を把握しその後のフォローアップにつなげる。	開催回数 参加者数	1 34	1 35			3月実施予定 準備中

⑥情報の集約・発信機能

No	区分	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	2年度実績値	3年度目標値	3年度実績値	達成率(%)	課題等	
18	実施中	メディア・ホームページ・情報発信	きっかけ	<p>情報発信の身近な手段としてホームページで多くの市民に市民活動情報を発信し、市民活動に興味をもってもらう。小田原市の市民活動の推進・UMECOの利用促進を図る。</p> <p>FMおだわら、J:COMのラジオ及びケーブルテレビを通し、団体の活動を一般市民にPRし、更なる活動の推進につなげる。</p>	<p>小田原市の市民活動の推進及びUMECOの利用促進につながる様々な情報を収集して、ホームページで迅速・正確に発信する。(市民活動団体に必要な情報・助成金・活動の予告・団体からの情報その他必要と認める内容を掲載する。)</p> <p>FMおだわら(毎週日曜日の午前10時)10分~15分間、団体の活動紹介をする。 J:COM(随時) 団体のイベント情報の紹介等を行う。 事業実施前後にフェイスブックを活用し情報を提供する。</p>	<p>ホームページ閲覧件数</p> <p>FMおだわら参加団体数</p>	44,000	50,000				
19	実施中	情報紙の発行	きっかけ 行動	<p>「UMECOだより」は、一般市民や市内外の方にもUMECOの情報や取材したタイムリーな記事を提供するための情報紙である。市民や市民活動への興味を持って市民活動への担い手を増やす。</p> <p>「つながる」では、登録団体にUMECOの事業の情報や市民活動に関わる情報を提供しUMECOの利用促進と市民活動の活性化を図る。</p>	<p>市民が社会貢献活動に興味を持てるようイベントやボランティア募集の情報を掲載する。市民活動団体の情報だけでなく、市民が関心を示す社会的な記事・季節感ある記事等、情報紙として価値ある内容を載せる。</p> <p>◆偶数月隔月6回発行 登録団体に他団体の情報や、UMECOの活動を知らせるための記事を載せる。</p> <p>◆偶数月隔月6回発行 今年度はイメージを改め事業報告より読んでいただける予告事業の広報に力を入れ、新しい発想の中で保存し、<u>たくなるような「UMECOだより」にしたいと考えている。</u></p>	<p>発行回数</p> <p>発行部数</p>	6	6	3	50	50	<p>コロナ禍で団体さんのイベントや講座の中止が多発している。UMECO情報誌は市民にUMECOの情報を伝える大きな役目がある。新しいアイデアを盛り込む。</p>